

公表：令和 2 年 2 月 7 日

事業所名 どんこコース

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●			公園を中心に活動しているので、子ども達は伸び伸びと活動できている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	●				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		●		スロープや車いす用のトイレを設置している。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		●			業務の分担表は掲示しているが、業務改善が行えるように担当者単位でのミーティングを行うようにしていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			2017年度から公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		●			第三者による外部評価を行うようにしていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			症例検証などの研修を行うことで、職員の資質向上が果たされている。	委員会にて必要な研修の検討を行っていきます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		●			標準化されたアセスメントツールの使用を検討していきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			平日と土曜日・長期休みの活動プログラムの立案チームの2体制で行っています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●				
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		●		長期休みについては、利用者の参加が固定化されないこともあり、対応が難しい面もあるが、平日は個々の利用者にはスポットを当てて課題設定を行っている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	●				
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●				
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			支援後振り返りや支援開始前に話し合う機会を設けている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			システムを導入することで、記録の記入漏れ防止や検証・改善につなげています。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		●			支援計画の見直しについて、期間を決めて実施を行っているが、変更の必要がある場合は、柔軟に対応していくようにしていきます。
関係	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		●			ガイドラインの総則の周知徹底を行っています。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●				
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	●			必要があれば保育所等訪問のサービスも提案して、学校との連携を図っています。	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	●		主治医と直接連絡をとっていないが、検査結果等で情報を得ています。	医療的ケアが必要な利用者の場合には、連携を図っていきます。	
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	●		保護者からの情報提供や要望があった際には、各関係機関と連携を図っています。		
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	●				
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●				
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	●		クラブ活動やスポーツ大会の参加を通じて、活動を共にする機会を増やしている。		
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	●			参加者が一部の職員に限られている為、今後は参加する職員を増やしていきます	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●				
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●		年1回、保護者に対して外部講師を招いて勉強会を開催しています。	今後は、勉強会の資料をHPで閲覧できるように仕組みを考えています。	
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●				
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●		茶話会を含めて、送迎時にも対応している。難しいケースは持ち帰って管理者が対応している。		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●				
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●			苦情についての情報共有のあり方について、マニュアル等を整備して、職員一人ひとりに周知していきます。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	●				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	●		子ども達が収穫した野菜やお餅を地域の住民に配っている。	事業所に招待するような行事を企画していくようにする。	
	非 常 時 等 の 対 応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●		危機管理委員会にて各マニュアルを作成している。	今後は職員への周知や保護者にも閲覧できるような体制を整えていきます。
		③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●		地震や火事の避難訓練をそれぞれ年2回実施している。不審者訓練についても子ども達に対して行っている。	
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●		法人内に虐待防止委員会を設置して、職員研修やストレスチェックや予防リストの実施を行っている。		
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●				
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●				
④④		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●		月1のミーティング時にヒヤリハットの事例を発表している。	今後は事前予防の観点からヒヤリハットを活用していきます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。